


教養モジュール科目案内

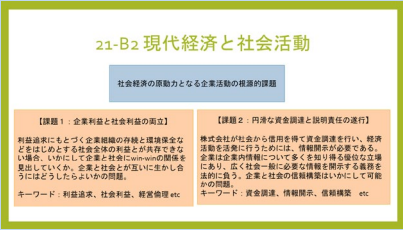
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	21-B1 日本を知り、世界を知る		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	小島 卓也	責任部局	多文化社会学部
趣 旨			
学生の皆さんへのメッセージ	説明動画		
	 テーマ選択期間前に掲載		

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
未定	小島 卓也		
長崎から海外輸出された陶磁器	野上 建紀	江戸時代、長崎から世界に向けて多くの陶磁器が輸出されていた。唐船やオランダ船によってアジア、ヨーロッパに運ばれただけでなく、スペイン船によってアメリカ大陸へも運ばれていた。世界に運ばれた陶磁器を通して当時の日本と世界のつながりをみていく。	肥前磁器（有田焼・波佐見焼） 歴史考古学

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応											※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力	考えをやり取りする力	国際・地域社会への関心	人文科学の内容を取り扱う
未定												
長崎から海外輸出された陶磁器	◎						◎			○	◎	
◎（特に重視）の数												
○（重視）の数												

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

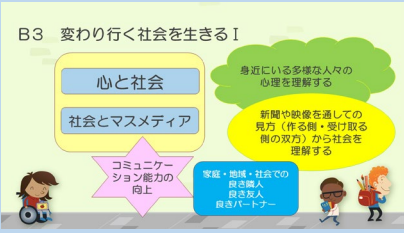
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	21-B2 現代経済と企業活動		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	林川 万理水	責任部局	経済学部
趣 旨	未定		
学生の皆さんへのメッセージ	未定	説明動画	
			

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
経済活動と社会	高井 計吾		
企業の仕組みと行動	林川 万理水		

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点		
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への	A	B
経済活動と社会												取り扱う	社会科学の内容を 取り扱う
企業の仕組みと行動													
◎ (特に重視) の数													
○ (重視) の数													

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

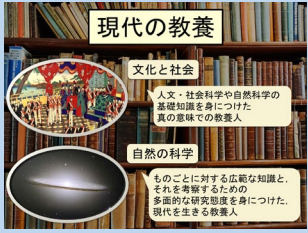
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	21-B3 変わり行く社会を生きる 1		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	内野 成美	責任部局	教育学部
趣 旨	社会の変化は、これまで私たちが経験したことのない速さで、かつ大規模に進んでいます。本テーマでは、私たちの身近に起こっている社会の変化を、心理、社会、多様性の理解、そして価値観という4つの視点から紐解いていきます。そして、変化する社会の中でいかに生きるか、また将来目指すべき社会の姿やよりよく生きる自分の姿について考えます。		
学生の皆さんへのメッセージ	今の社会、ひいては将来の社会の姿を作っているのは、私たち一人ひとりです。しかしその私たち一人一人は異なる意識や視点、経験を持っています。そうした“個”を意識するとともに、社会という“集団”の中で対応する力をつけるべく、本モジュールでは、私たちが生きる社会の変化について学び、これからの社会の在り方について考える機会にしましょう。	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
心と社会	内野 成美	臨床心理学の視点から、コミュニケーションや多様性への理解を深める。また、発達障がい、対人緊張など、様々な対人関係の困難が生じる事例をもとに、カウンセラーの役割を知り、相談の意義を理解する。	カウンセラー、傾聴、社会人基礎力、臨床心理学
社会とマスメディア	矢野 香	ことばや映像を活用して社会にメッセージを発信する新聞、ラジオ、テレビ、インターネットを取り上げ、その中でのことばの使い方や映像の工夫などを理解するとともに、それらを批判的に受け取り、論理的に考える態度の育成を図る。	マスメディア、マイメディア、新聞、ラジオ、テレビ、インターネット

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えをやり取りする力	⑩ 国際・地域社会への関心	※授業編成の視点	
											A	B
											取り扱う 人文科学の内容を	取り扱う 社会科学の内容を
心と社会	○	○			○	○	◎	◎	◎		○	○
社会とマスメディア	○	◎	○	○	○	◎	○			○		○
◎（特に重視）の数	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
○（重視）の数	2	1	1	1	2	1	1	0	0	1	1	2

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

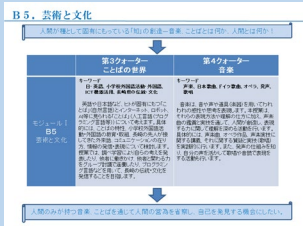
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	21-B4 現代の教養		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	田口 由香	責任部局	教育学部
趣 旨	21世紀のグローバル社会を生きる人々には、たんに自己の専門分野の知識を深めるだけではなく、ひろく人文・社会科学や自然科学に関係する基礎知識や研究方法を身につけ、真の意味での教養人であることが要求されます。本モジュールでは、モジュール I の各科目で人文科学・社会科学・自然科学の基礎知識や研究方法を修得したのち、各自の関心に応じて、それぞれの分野でより深い知識や研究態度を身につけることができるように、モジュール II の科目を選択できるようになっています。		
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点到偏らず、ものごとに対する広範な知識とそれを考察するための多面的な研究態度を身につけ、現代を生きる教養人をめざしてください。	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
文化と社会	田口 由香 中島 貴奈	明治維新期の歴史や文学を学ぶことで、日本の近代国家形成と国際関係を理解し、現代のグローバル化に対応する力を養う。	明治維新、歴史、文学
自然科学	工藤 哲洋	教養としての天文学を学ぶ。宇宙と自分とのつながりを認識し、自然との関わり力を培う。	宇宙、恒星、地球

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えるやり取りする力	⑩ 国際・地域社会への関心	※授業編成の視点	
											A	B
											取り扱う 人文科学の内容を	取り扱う 社会科学の内容を
文化と社会	○	○					○			○	○	
自然科学	◎	◎		◎	○			○	○			○
◎（特に重視）の数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
○（重視）の数	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内


カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	21-B5 芸術と文化		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	松元 浩一	責任部局	教育学部
趣 旨	<p>21 世紀のグローバル社会を生きる今日の学生には、単に自己の専門分野の知識を深めるだけでなく、ひろく人文・社会科学や自然科学に関係する基礎知識や研究方法を身につけ、さらに、国立大学の学生として、芸術も理解・表現できるような、真の意味での教養人であることが求められている。</p> <p>本モジュールでは、人文・社会科学・教育科学の基礎知識や研究方法、芸術の理解・表現方法等について、大学生に求められる教養や知識や研究態度を涵養することを目的として開設する。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点到に偏らず、ものごとに対する広範な知識とそれを考察するための多面的な研究態度を身につけ、21 世紀を生きる教養人を目指してほしい。	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
ことばの世界	松元 浩一 中村 典生 倉田 伸	英語や日本語を初めとする「ことば」を題材にし、コミュニケーション上有用な ICT 機器の活用も含めて、現代に生きる人間活動の諸問題をことばと情報の観点から考察する。	日・英語、外国語活動、ICT 機器活用、長崎県
音楽	宮下 茂	声楽曲やオペラ作品等を取り上げ、音楽作品を鑑賞し理解を深める。発声の仕組みを知り、自分の声を活かして歌唱や音読で表現をする。	声楽、日本歌曲、ドイツ歌曲、オペラ、発声、歌唱

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点	
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力	国際・地域社会への関心	A	B
ことばの世界	◎	◎	◎	○	○			○	○	○	◎	○
音楽	◎						○			○	○	
◎ (特に重視) の数	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
○ (重視) の数	0	0	0	1	1	0	1	1	1	2	1	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュール I
テーマ名	21-B6 ICTの仕組みと活用法		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	古賀 掲維	責任部局	ICT 基盤センター
趣 旨	今、私たちの身の回りには優れた性能をもったコンピュータが溢れている。コンピュータを自由に使いこなすことによって、一見不可能と思える問題を解決することができる。本モジュールでは、コンピュータの助けを借りて問題解決ができる能力(計算論的思考: Computational Thinking)を養うことを目的に、情報通信・ネットワークの仕組みやプログラミングについて学ぶ。		
学生の皆さんへのメッセージ	必携パソコンや情報機器をさらに使いこなせるようになりたい学生の皆さんを歓迎します。是非、本モジュールで必携パソコンをより身近なツールとしてください。	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
情報通信とコンピュータネットワークのしくみ	柳生 大輔	コンピュータやネットワークの要素技術や規格・プロトコル等を知ることにより、システムや構成要素がどのような仕組みで稼働しているか、どのような性能や信頼性をもって稼働しているかを理解することを目標とする。また「長崎」の通信の歴史におけるかわり、離島・へき地における通信について学ぶ。	情報通信、コンピュータネットワーク、プロトコル、信頼性、長崎県
プログラミング入門	古賀 掲維	Python(パイソン)というプログラミング言語を用いて、プログラミングの基礎を学ぶ。また、基本的なアルゴリズムについて Python を用いてプログラムを作成する。さらに、Python を用いた AI プログラミングにも挑戦する。	プログラミング、アルゴリズム。人工知能(AI)

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えるやり取りする力	⑩ 関心	※授業編成の視点	
											A 取り扱う	B 取り扱う
情報通信とコンピュータネットワークのしくみ	◎	○	◎		○					◎		○
プログラミング入門	◎	◎	◎	◎	◎			○				○
◎ (特に重視) の数	2	1	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0
○ (重視) の数	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目